

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	正中弓状靭帯圧迫症候群による腹腔動脈狭窄を伴う膵頭十二指腸切除症例に対して術前腹腔動脈ステントと術中正中弓状靭帯切離の併用治療。
研究責任者 (所属科名)	小橋 俊彦 (消化器外科)
本研究の目的・意義	正中弓状靭帯圧迫症候群による腹腔動脈狭窄を伴う膵頭十二指腸切除症例において肝動脈血流を安全に確保することが必要となります。私たちは術前腹腔動脈ステントと術中正中弓状靭帯切離の併用を施行しました。術前腹腔動脈ステントと術中正中弓状靭帯切離の併用が安全にそして確実に肝動脈血流を確保できたことの意義を研究します。
調査方法・調査期間	2013年1月～2020年8月までの情報を調査対象とします。 後ろ向き研究であり、2020年12月までを研究予定期間とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2013年1月～2020年8月までに安佐市民病院外科にて正中弓状靭帯圧迫症候群による腹腔動脈狭窄を伴う膵頭部領域の腫瘍に対して膵頭十二指腸切除術を実施された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある病歴、造影CT検査画像、血管造影検査画像、術中所見を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 副部長 新宅谷隆太
備考	